



最高級ワインの代名詞となっている「ロマネ・コンティ」。希少性が高く高値で取引されている

このロマネ・コンティは「幻」と呼ばれている1945年のヴィンテージ（収穫年）で、出品者はフランス・ブルゴーニュのワイン

6 500万円——。2011年10月にサザビーズのオークションに出品された最高級ワイン「ロマネ・コンティ」の落札価格だ。サザビーズにおける1本当たりの落札価格としては、史上最高額である。

このロマネ・コンティは、古いロマネ・コンティと呼ばれています。

8年10月にサザビーズのオークションに出品された最高級ワイン「ロマネ・コンティ」の落札価格だ。サザビーズにおける1本当たりの落札価格としては、史上最高額である。

このロマネ・コンティは、「幻」と呼ばれている1945年のヴィンテージ（収穫年）で、出品者はフランス・ブルゴーニュのワイン

## ロマネ・コンティが6500万円で落札 人気のワイン投資

iStock/gettyimages



の造り手。古いロマネ・コンティには偽物も多いが、今回は来歴が確かだため、競り合いとなり最高額での落札となった。

かつてニューヨーククリスティー

ズでアジア人初のワインスペシャリストとして活躍し、現在はワインオーナー

としてのワインの

表を務める渡辺順子氏は、投資対象

### ワインは資産運用の対象に

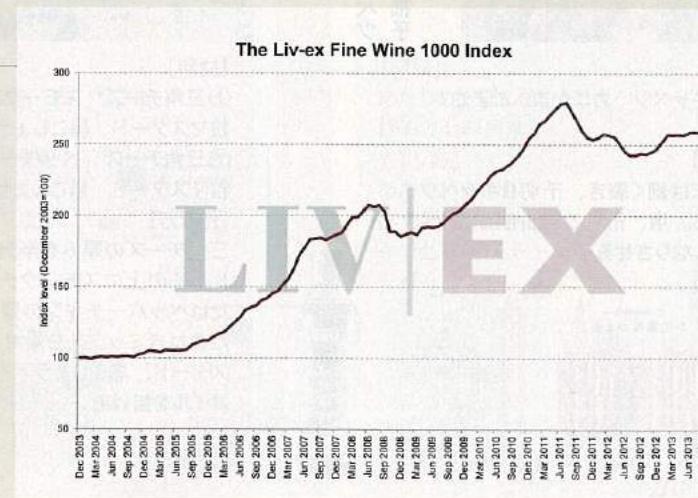
示している。

08年のリーマンショックや11年の欧州債務危機など、マクロ経済の環境が最悪な中においても暴落することが分かる。

ただし、投資である以上リスク

はある。日本では、ワイン投資

アンドのヴァンネットがずさんな投資で16年に経営破綻する事件も起きていた。自分が理解できないものには投資しないという原則を守り、許容できるリスクを見極め



魅力をこう語る。  
「ワインは、基本的には年を経ることに価値が上がっていく。一方で、消費される（飲まる）ため本数は減っていく。食品のように賞味期限もない。一般的な商品と違って、持ち続けるほど価値が上がり、出回るため、欧米から数多く出品されている。

渡辺氏によれば、ニューヨークで開かれるオークションでは、およそ6割がコレクターによって落札されるという。勢いがあるのは香港のオークションで、他地域よりも高値で落札されるため、欧米から数多く出品されている。

右下図は、オンラインで高級ワインの取引プラットフォームを運営する英Liv-ex（ライブ・エックス）社が発表している。右下図は、オンラインで高級ワインの取引プラットフォームを運営する英Liv-ex（ライブ・エックス）社が発表している。

Liv-ex Fine Wine 1000」という指標だ。世界で取引されている高級ワイン1000銘柄の価格を指数化したもので、03年を100としたときのその後10年の推移を

オークションだけではなく、ワイン投資家の間で取引されている。右下図は、オンラインで高級ワインの取引プラットフォームを運営する英Liv-ex（ライブ・エックス）社が発表している。

オールドのヴァンネットがずさんな投資で16年に経営破綻する事件も起きていた。自分が理解できないものには投資しないという原則を守り、許容できるリスクを見極め

ることが分かる。

ただし、投資である以上リスク

はある。日本では、ワイン投資アンドのヴァンネットがずさんな投資で16年に経営破綻する事件も起きていた。自分が理解できないものには投資しないという原則を

守り、許容できるリスクを見極め

置かない、③直射日光は避ける、④立てて保管する——の4点だ。またボトルだけでなく、高級ウイスキーに付属している飾り箱なども保管しておいた方がいい。今泉氏は「完全な商品であるほど価値は上がり、売却時の金額も上がる」と話す。

過熱するウイスキー投資。もしあなたの自宅に古いウイスキーが眠っていたら……。その琥珀色の美味に酔いしれるか、現金に換えるかは、あなた次第だ。

018年1月、サントリースピリッツのシングルモルトウイスキー「山崎50年」が香港のオークションにかけられ、3250万円に達した落札額が話題に上った。

11年に150本限定で発売された当時の価格は100万円。それから7年で32倍超に跳ね上がった形となつた。当のサントリー社員は「飲まずに投資目的の人のが手に渡るのは複雑な思い」と冷ややかだが、メーカーの手を離れたウイスキーはすでに富裕層の熱い視線にさらされている。

「海外の富裕層はレアで超年代物の日本産ウイスキーを欲している。彼らにとつてウイスキーはもはや飲料ではなく、投資すべき対象。海外で偽ボトルが出回るなどのリ



iStock/gettyimages

スクも顕在化しているが、全体として価格の上昇トレンドは続く」と話すのは、酒買取り専門店「アプレリカ」を運営する蔵王（大阪市）取締役の今泉優哉氏だ。

今回、蔵王の協力で主な国産ウイスキーの買い取り価格を調べた（下表参照）。相場が上がる商品に共通するのは、人気ブランドかつ希少性が高いことだ。多くは限定



海外の富裕層が「どんなにお金を積んででも欲しがっている」とされる「山崎50年」（右）と「竹鶴35年」

### 年代物は価格急騰!

主な国産ウイスキーの買い取り相場

メーカー名	商品名	買い取り価格	メーカー希望小売価格
サントリー	山崎35年	520万円	50万円
	山崎シェリーウッド1982	58万5000円	25万円
	山崎18年ミズナラ2017 EDITION	32万5000円	10万円
	山崎12年	1万1000円	8500円
	響30年	32万4000円	12万5000円
	響17年	2万2500円	1万2000円
ニッカ	白州18年	4万0500円	2万5000円
	白州12年	1万5500円	8500円
	竹鶴35年	72万円	7万円
	余市20年	16万円	2万0820円

\*アプレリカの買い取り価格(2018年12月14日時点)を基に本誌編集部作成

特集 ① ビジネス、健康に役立つ!  
ニッポンの酒の新常識

特集 ② 日本が初議長国へ  
データで読むG20

週刊

# ダイヤモンド

インタビュー  
北方謙三氏が語る  
優れたリーダーの条件

DIAMOND  
WEEKLY 2019  
定価  
710円 1/12

第107巻2号／毎週土曜日発行／平成31年1月12日発行／大正2年5月10日第3種郵便物認可

変わります！

# 酒

ニッポンの

日本酒

焼酎

ワイン  
ビール

ウイスキー

ワイン法施行と  
関税撤廃で変わる  
「日本ワイン」

テロワール  
AI活用：  
日本酒に新風

ITベンチャーが  
クラフトビール  
続々参入の理由



最新研究で判明  
飲酒と健康の  
本当の関係